

【基本施策】

29. 調和のとれた都市空間を形成する

【基本方針】

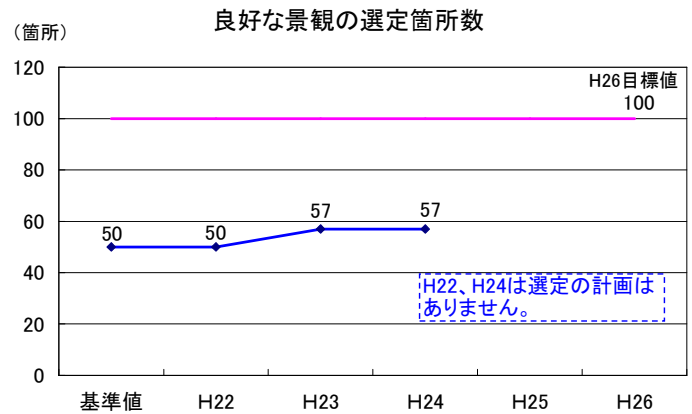
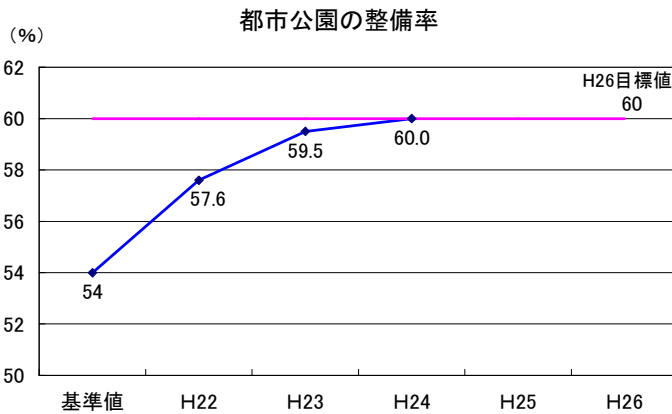
公園は潤いをもたらす緑の空間であり、災害時には人々の緊急避難地として機能する重要な社会資本であることから、今後とも整備率の向上に努めていきます。また、子どもが安全で安心して活動できる環境づくりという観点からも公園整備の充実を図ります。管理面では、ボランティアで施設管理や美化活動を行う里親制度の拡大により、維持管理費の縮減を図ります。

さらに、歴史や自然と調和した美しい景観を見て、歩いて、楽しむ街並み形成を目指すため、景観に対する市民意識の高揚を図る取組みを継続し、市民や事業者と行政が協働で景観づくりに努めます。

【実施施策】

- ◇公園の充実 ◇景観の保全

【施策成果指標】



【供用開始面積／公園面積】

生活基盤の質を高め、快適で潤いのある都市空間を創出し、災害発生時の避難地確保を図るための指標として、都市公園の整備率向上を目指します。

景観の保全を図るための指標として、市内の美しい景観の発掘を行い、景観百選の選定を目指します。

【構成事務事業の達成ランクおよび方向性】

基本施策	構成事務事業の状況											
	H24 ランク				H26 方向性							
	A	B	C	小計	事務改善	内容拡大	内容縮小	維持	終了	廃止休止	統合	小計
調和のとれた都市空間を形成する	6	0	3	9	0	0	1	7	1	0	0	9
公園の充実	5	0	2	7	0	0	1	5	1	0	0	7
景観の保全	1	0	1	2	0	0	0	2	0	0	0	2

これまでの取組み成果

景観条例の制定など地域の特性や文化・歴史を生かした住民参加による街づくりを推進するとともに、公園など既存の生活基盤施設の質の向上に努めた。また、市民参加の景観コンテストを実施して、景観や環境に関する意識高揚に努めた。

今後の課題

公園施設について、メンテナンスを定期的に行い長寿命化を図るなど、ストック活用型のまちづくりを継続して推進し、既存施設の長寿命化、質の向上に努め都市機能の充実を図る必要がある。また、景観や環境に関することについては、市民一人ひとりの持続的な意識の高揚を図る必要がある。

今後の施策展開

公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設のメンテナンスや質の向上に努め、積極的な活用に努めるとともに、鯖江百景や景観コンテストによる選定された情報を積極的に発信するなど市民参加の中で景観に関する意識高揚を図る。

【総合評価】

- A 政策目標に向けて高いレベルで推移している。
- B 政策目標に向けて概ね順調であるが、一部努力を要する。**
- C 政策目標に向けてあまり順調ではなく、一層の努力が必要である。
- D 政策目標の達成には程遠く、全体的な努力が必要である。

〈H24 総合評価：B〉